

Crescendo

2023.8
vol.152

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

旅する劇場

いつも公演を鑑賞していた劇場が
県内あちこち旅をする！
おうちの近くで気軽に体験してみようかな？
公演をきっかけに、ちょっと遠出して観光もありかも！
おいしい食事、素敵な景色も思い出に。
そうだ、みんなで出かけよう！

● 公演・WS 開催会場

えびの市

えびの市の田の神さ

西都原古墳群

宮崎市

都城市

日南市

串間市

五ヶ瀬町

椎葉村

美郷町

西の正倉院で聴く 雅楽

～奈良・平安時代へタイムトリップ

今秋、美郷町で特別な鑑賞体験してみませんか？

清らかな河川、緑あふれる山々に囲まれた自然豊かな“美郷町”の観光スポット「西の正倉院」で雅楽のコンサートを開催します。

およそ千数百年もの昔から親しまれてきた世界最古の合奏音楽「雅楽」。その伝統を守りつつも、空間を利用した演奏スタイルで新たな試みにも積極的に取り組む「Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble」の代表・真鍋尚之さんに、雅楽の魅力や西の正倉院での演奏についてお話を伺いました。



西の正倉院とは…

約1300年前、朝鮮半島の古代国家「百済」が滅亡後、百済の王族が流れ着いた伝説が残る美郷町には、百済王の遺品とされる、銅鏡「唐花六花鏡」が神門神社で発見されました。この銅鏡は、奈良正倉院の宝物と同一品とされ、神門神社の隣に西の正倉院が造られるきっかけとなりました。宮内庁の全面協力を得て、門外不出の正倉院の原図をもとに、樹齢400～500年の天然木曽ひのきを使って忠実に建築。構想から10年をかけて平成8年に完成しました。

雅楽との出会いについて教えてください。

クラシック音楽が好きで、高校から作曲の勉強をはじめました。西洋音楽が先でしたが、もともとお城や神社・仏閣など日本の古いものが好きだったこともあって、日本の音楽にも強い興味を持っていました。当時は図書館でレコードを聴くぐらいしかできませんでしたが、「^{しょうみょう}声明*」にハマってお坊さんになろうと思った時期もあったぐらいです(笑)。雅楽をはじめたのは、21歳のときです。雅楽の楽器を扱っている楽器屋さんをみつけて、ようやく楽器を手に入れて習い始めました。

*声明…仏教の儀式において経文を朗唱する声楽の総称。発祥は古代インドで、中国仏教の伝来とともに日本に伝えられました。

ハードルが高そうな「雅楽」ですが、誰でも始められる音楽なんですか。

雅楽といえば、宮内庁式部職楽部が有名だと思いますが、宮内庁楽部には中卒で入るのが通常で、欠員がない限り受験できないんです。私は、洗足学園大学で作曲・声楽を専攻していましたが、卒業するころに、東京藝術大学の邦楽科に雅楽専攻ができると聞いて、専門的に勉強したいと思い受験しました。1期生は2人で、卒業したのは私だけなので、実質1期生は私ひとりですね。代々雅楽の家系の人もいれば、そうでない人もいますし、私みたいに全然関係のないところからはじめる人もいます。あと、天理教や神社関係、仏教関係の方なども演奏されますよ。

千数百年の歴史をもつ「雅楽」の魅力は？

雅楽は、中国や朝鮮半島から入ってきた外国の音楽ですが、何百年という長い時間をかけて日本人に馴染むように整えられてきました。そこには先人の感覚や知恵がたくさん詰まっています。音楽的には難解なイメージもあると思いますが、音階もリズムもありますし、作品によって拍子や雰囲気異なります。この機会に、



雅楽にもさまざまな音楽・曲調があるんだと、知ってもらえたら嬉しいです。構えずリラックスして聴いてもらえれば、素直に入ってくる音楽だと思います。



美郷町の観光スポット「西の正倉院」でのコンサートとなりますが、いまのお気持ちは？

先日、下見で伺いましたが、想像していたよりも3倍大きかったです(笑)。1300年の伝統ある音楽をやっているのも、もちろん伝統を守るのは当然ですが、Naoyuki MANABE GAGAKU Ensembleは、それぞれの楽器の魅力が伝わりやすいように音楽を再構成し、ただ演奏するだけでなく空間演出もしています。いままでも遺跡や公園などで演奏を行い、空間すべてが会場となりうる構成で演奏会を行ってきました。西の正倉院でも、建物の前の空間を目一杯使って、敷地全体を音で埋め尽くしたいですね。

公演情報

「西の正倉院で聴く雅楽」

～奈良・平安時代へタイムトリップ

10月21日(土)

開場13:30 開演14:00 *約90分公演

西の正倉院(屋外敷地) ※建物内部の拝観はできません。

〒883-0306 宮崎県東臼杵郡美郷町南郷神門62-1

(雨天時会場：南郷支所隣接 多目的ホール)

【出演】Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble

笙：真鍋尚之、永井大志／^{ひちりき}箏：國本淑恵、春日るり子

笛：太田豊、岩崎達也

司会：前田晶子

*諸事情により、出演者が右記のとおり変更となりました。 箏：三浦元則→春日るり子

【プログラム】

《調子》双調(笛) 黄鐘調(箏) 平調(笙・箏・笛) 盤渉調(笙)

管絃吹(春庭楽)／神楽歌より ほか



美郷町

加藤昌則の

聴かぬなら
聴かせてみせよう!

クラシック in 日向!!

笑いあり!驚きあり!
クラシックを楽しく一緒に
学んじましょう!!

加藤さんのこれまでの公演をおさらい♪

昨年からスタートしましたシリーズ企画!その名も「加藤昌則の聴かぬなら聴かせてみせよう!クラシック」!!本公演では、各回ごとの「テーマ」に沿ってナビゲーターである加藤さんが作曲家と演奏家の両方の目線で楽曲をお届けします。本公演の前に加藤さんの過去の公演をおさらいしていきましょう♪



加藤昌則
(ピアノ・ナビゲーター)

1 レクチャー型コンサートとして音楽祭初登場!

第26回宮崎国際音楽500円コンサートの日「加藤昌則の「とびだせ!クラシック」!!

テーマ:「クラシックなんて大キライ?」(公演日:2021年8月1日)

【共演】会田莉凡・城戸かれん(ヴァイオリン)、須田祥子(ヴィオラ)、黒川実咲(チェロ)

本公演が加藤さんのレクチャー型コンサートとして、本県で初めての公演となりました!出演者には音楽祭メンバーから4名が出演し、楽曲の紹介と時代と共に変わっていく作曲技法を学び、お客さんからも盛大な拍手で公演を終えました。



2 待望のシリーズ企画スタート!!シリーズ第一弾のテーマは「宗教音楽」!



「加藤昌則の聴かぬなら聴かせてみせよう!クラシック」#1公演

(公演日:2022年12月24日)

【共演】鵬翔中学校・高等学校合唱部

「宗教音楽」には合唱が欠かせない!ということもあり、鵬翔中学校・高等学校合唱部の皆さんにご出演いただきました!クラシック音楽の源泉を、加藤さんの解説と合唱を織り交ぜて解き明かしました。

3 シリーズ第二弾!! テーマは「室内楽」!

「加藤昌則の聴かぬなら聴かせてみせよう!クラシック」#2公演

(公演日:2023年1月21日)

【出演者】川田知子(ヴァイオリン)、須田祥子(ヴィオラ)、向井航(チェロ)

ヨーロッパで「室内楽」は華やかで人気のジャンルということをご存じでしたか?本公演では各楽器の音色を「独奏」でお聴きいただき、その後「ピアノ三重奏」「ピアノ四重奏」などテーマである「室内楽」として様々な形態の演奏をお届けいたしました。



これまでいただいたお客様からの感想♪

- クラシック音楽の起源がよく分かってとても勉強になりました!
- 「宗教音楽」の歴史について、知らない事ばかりでした!これからは何気なく聴いていたクラシック音楽の作曲された背景などを考えながら聴いてみたいと思います。
- 加藤さんと素晴らしいアーティストの共演!演奏面だけでなくお話も最高でした!!
- 「室内楽」あまり馴染みのないテーマだったけど、各楽器の音色とアンサンブルになった音の違いを楽しむことができ、とても楽しかった。

公演情報

加藤昌則の
「聴かぬなら聴かせてみせよう! 日向市
クラシック」 日向公演

2023年11月18日(土)

日向市文化交流センター 日向市中町1番31号

【出演】加藤昌則(ピアノ・ナビゲーター)／南紫音(ヴァイオリン)

さあ!ここまで、色々な角度から音楽の歴史や謎を紐解いてきたレクチャーコンサート!!

今回はどんなお話が飛び出すのか! 日向市での公演に乞うご期待!!

劇場休館の お知らせ

当劇場は、建物の耐震性の強化を図る改修工事のため、令和5年8月から令和6年(終期未定)まで施設を休館します。

この間、県内各地の公立文化施設での共催公演などを開催いたします。

予約受付:令和5年8月以降の施設利用の予約については、受付を停止いたします。



年間ラインナップ

メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)
自主事業公演チケット情報

2023年 ※2023年7月24日時点の情報です。

9月9日(土) 宮崎市民文化ホール 大ホール 開演 11:00	9月10日(日) えびの市文化センター 開演 11:00	おんがくのおもちゃ箱シリーズ おとのたねバンド編 【出演】衛藤和洋(ドラム&パーカッション)、大西映光(ベース)、黒木奈津季(ピアノ)、伊豆諤子(進行&歌)、香月保乃(ユーフォニアム) 〈全席自由〉 3歳以下 無料/4歳以上500円/なかよしチケット700円 ※4歳以上2人1組(前売りのみ)	チケット発売中
9月23日(土) 延岡総合文化センター 大ホール舞台上 開演 11:00	はじめてのクラシック♪in 延岡 〜フルート〜 【出演】熊谷愛香(フルート)、野崎さやか(ピアノ) 〈全席自由〉 大人500円/子ども(未就学児)無料 ※事前申込制 定員:親子14組(1組3名まで。子ども含む)		申込受付中
10月7日(土) 10月8日(日) 都井岬	プロジェクト「の、まど」in 都井岬 『avec Toi 一馬がいて、人がいて、そしてまた馬がいる』 【出演】アーティスト:五十嵐靖晃、影絵師・音楽家:川村亘平高、映像作家:伊達忍 ①「都井岬ガイド」 ②ワークショップ「風と馬」 ③映像作品「界」上映+影絵パフォーマンス「御崎馬の夢」 バスポート(通し券) 1,000円/プログラム別チケット 各500円 ※バスポートで①〜③の全てのプログラムに参加できます。(バスポートは日にちをまたいでの参加も可能です)	9月1日(金) 申込開始	
10月21日(土) 西の正倉院 (屋外敷地) 開演 14:00	「西の正倉院で聴く雅楽」〜奈良・平安時代へタイムトリップ 【出演】Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble 笙:真鍋尚之(監修/笙、代表)、永井大志 箏:三浦元則、國本淑恵 笛:太田豊、岩崎達也 司会:前田晶子 〈全席自由〉 4歳以上:500円		チケット発売中
11月18日(土) 日向市文化交流センター 大ホール 開演 14:00	加藤昌則の「聴かぬなら聴かせてみせよう!クラシック」日向公演 【出演】加藤昌則(ピアノ・ナビゲーター)、南紫音(ヴァイオリン) 〈全席自由〉 一般:2,000円(1,800円)/U25割:1,000円	9月10日(日) 発売開始	
11月11日(土) 椎葉平家まつり	プロジェクト「の、まど」in 椎葉村 『しいば!おどりば!2023』椎葉平家まつりスペシャルバージョン 【出演】黒木裕太(構成・演出・振付)、志娥慶香(ピアノ・作曲)、しいばキッズ・ダンサーズ		鑑賞自由・無料

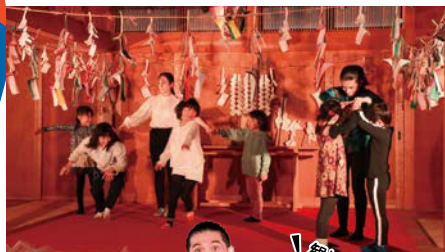
【Attention(ご注意)】◎記載情報は変更になる場合があります。◎()内はくれっしえんど倶楽部会員価格です。
◎U25割は鑑賞時25歳以下が対象。その他の割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増になります。※一部公演除く ◎託児サービス(有料・事前申込要)がご利用いただけます。
※一部公演除く

プロジェクト
の、まど in 椎葉村
しいば! おどりば!
2023椎葉平家まつり
スペシャルバージョン

2023年11月11日(土)

場所:椎葉平家まつり

椎葉村を代表する「椎葉平家まつり」。村内の子ども達が椎葉の郷土芸能などを披露する「やまびこ発表会」に出演します!子どもたちの豊かな発想や自由な表現を引き出しながらダンス作品を創作し、大舞台で舞い踊ります。お楽しみに!



昨年度の集合写真

鑑賞自由
無料プロジェクト
の、まど in 都井岬

小松ヶ丘エリア

① 都井岬ガイド

今回限りの特別なガイド。都井岬のスペシャリストが、御崎馬のことから岬全体の生態系や歴史まで、余すことなく魅力をご案内します。

② ワークショップ
「風と馬」

岬に生きる野生馬「御崎馬」。彼ら一人ひとりの個性を知り、その御崎馬になりきって丘で風を感じる、不思議で楽しいワークショップ。

avec Toi

——馬がいて、人がいて、
そしてまた馬がいる——

2023年10月7日(土)・8日(日)

場所:都井岬 宮崎県串間市

くわしくは



イラストレーション: スズキモミチ

③
ビジターセンターエリア

(共通チケット)

※2020年3月で閉館しましたが、今回特別に入場できます!

影絵パフォーマンス
「御崎馬の夢」

日没後のビジターセンター壁面に出現する、時空を超えた夢幻の影絵物語。星空の下、母馬が見るのは、岬をとりまく走馬灯のような夢。

映像作品「界」

4年ぶりの開催となる「都井岬火まつり」。美しい風景と、岬に生きる人々の話を交え、「火まつり」を追ったドキュメンタリー作品。

お問合せ

宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER〒880-8557 宮崎市船塚3-210
https://miyazaki-ac.jp/

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670

Twitter and facebook 随時更新中! 「フォロー」と「いいね!」お待ちしております